

各 位

2026年5月11日

株式会社イクヨ（証券コード：7273）

代表取締役社長 孫 峰

## 再生可能エネルギーを活用したサステナブルマイニングの取り組みについて

当社は、サステナブルな事業運営と新たな成長機会の創出を目的として、子会社のイクヨオートモーティブ株式会社（以下「イクヨオートモーティブ」）の名古屋工場において太陽光発電（再生可能エネルギー）の余剰電力を活用した暗号資産マイニングに取り組んでいます。本取り組みの概要および今後の展望について、以下の通りご紹介いたします。

### 1. サステナブルマイニングの概要

当社は、子会社のイクヨオートモーティブの名古屋工場にマイニングマシン4台を導入し、太陽光発電による電力を活用したビットコインのマイニングを実施しています。特に、工場の稼働が停止する土日祝日に発生する太陽光発電の余剰電力を有効活用しており、再生可能エネルギーの最適利用とデジタル技術を組み合わせた新たな事業モデルのPoC（概念実証）として運用しています。



イクヨオートモーティブ  
名古屋工場 太陽光発電



マイニングマシン

### 2. 背景と目的

暗号資産市場において、環境配慮や持続可能性を重視した事業運営は国際的な潮流となっています。当社は、既存工場に導入済みの太陽光発電設備から生じる余剰電力を有効活用することで、環境負荷を最小限に抑えつつ、新たな収益機会の創出とデジタル資産運用のノウハウ蓄積を図っています。

### 3. エネルギー活用の最適化と「分散型データセンター」の検討

名古屋工場では、蓄電池システムと連携し、休日の余剰電力をマイニングに転用することで、カーボンフットプリント（事業活動に伴うCO2排出量）を低減した持続可能なモデルの確立を目指しています。

また、市場環境の変化や電力需給の状況によりマイニングの実施が困難となる場合に備え、次なる電力活用策として「太陽光発電の電力を活用した分散型データセンター」の検討を進めています。工場の非稼働時間における電力をエッジコンピューティング等の需要に提供する、小規模・分散型インフラとしての可能性を追求し、エネルギーの地産地消と事業の多角化をさらに推進してまいります。

### 4. 暗号資産事業および水素事業を軸とした中長期戦略と今後の展開

当社の暗号資産事業は、再生可能エネルギーを活用した持続可能なモデルを基盤としており、将来的にはステーブルコイン決済の導入や国際B2B取引の高度化など、ブロックチェーン技術を活用した新たな経済圏の創出を目指しています。

また、水素自転車をはじめとする水素関連事業をサステナブル戦略の中核に据え、環境負荷低減と事業成長の両立を加速させます。今後は、デジタル技術（暗号資産・データセンター）と次世代エネルギー（太陽光・水素）を融合させ、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。

### 5. 今後の見通し

本件による今期業績に与える影響は軽微であります。今後公表すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

【 当リリースに関するお問い合わせ先 】

株式会社イクヨ ストラテジック デザイン部

Email : mail-ikuyo@ikuyo194.co.jp